

「千葉県環境学習等行動計画」関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R6年度	R7年度		
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	状況	事業予定	
1	1 人材の育成と活用	(1)学校や地域における指導者等の育成	・学校や地域における環境学習等の指導者としての力を備えた人材を育成するため、教職員等を対象に、SDGsやESDの視点を取り入れた研修を実施します。 ・地球温暖化問題について、地域や学校における普及啓発活動の中心を担う地球温暖化防止活動推進員の知識・技能の向上を図るための研修を実施します。 ・環境学習等を実践する多様な主体間の調整やネットワークづくり等を担うコーディネーターとしての力を備えた人材を発掘・育成するため、NPO等とも連携し、環境学習等に携わる人材の交流や研修の機会を提供します。	05環境	循環型社会推進課	環境教育指導者養成研修	学校や地域で環境教育活動を実践できる人材を育成するため、教育庁と連携し、環境教育の指導内容や指導方法についての研修を実施する。	森林環境教育プログラム「LEAF」を取り入れ、SDGsの考え方を盛り込んだ体験型の研修を実施した。 教員向け:1回 14名 NPO等の指導者向け:2回 31名	継続	森林環境教育プログラム「LEAF」を取り入れ、教職員やNPO等の指導者を対象として、自然体験の場を活用し、SDGsの考え方を盛り込んだ体験型の研修を実施する。	
05環境				温暖化対策推進課	地球温暖化防止活動推進員への研修	地球温暖化問題について、地域や学校における普及啓発活動の中心を担う地球温暖化防止活動推進員の知識・技能の向上を図るための研修を実施する。	研修参加者数:234名	継続	地球温暖化防止活動推進員の知識・技能の向上を図るための研修を実施する。		
10教育				学習指導課 (総合教育センター)	小・中学校自然体験活動研修	野外活動における具体的な指導方法について体験・実習を通し指導力の向上を図る研修	野外活動における具体的な指導方法について体験・実習を通し指導力の向上を図る研修を実施した。 小・中・高・特支教諭 24名	継続	野外活動における具体的な指導方法について体験・実習を通し指導力の向上を図る研修 小・中・高・特支教諭対象		
10教育				学習指導課 (総合教育センター)	海の生物観察実験研修	海辺の生物の観察、実験を通して、生物観察の基礎についての理解を深めるとともに、理科の指導力の向上を図る研修	海辺の生物の観察、実験を通して、生物観察の基礎についての理解を深めるとともに、理科の指導力の向上を図る研修 小・中・高・特支教諭 20名	継続	海辺の生物の観察、実験を通して、生物観察の基礎についての理解を深めるとともに、理科の指導力の向上を図る研修 小・中・高・特支教諭対象		
5		(2)次代を担う若手人材の育成	・地域の自然や文化、産業等の資源を活かし、多様な主体を巻き込みながら、環境学習等を実践できるSDGsの視点を持った若手人材の発掘・育成を進めます。 ・次代を担う子どもたちの環境問題に対する関心を喚起し、問題解決のための力を育成するため、環境学習等に取り組む学校や子どもエコクラブ等の地域の活動を支援します。	05環境	循環型社会推進課	本籍	若者が主役の環境保全活動応援事業	若者の創意工夫による活動の企画コンペを実施し、活動への支援や、地域団体や企業への橋渡しを行うことで、本県の環境活動をリードする若手人材の育成を図るとともに、若者発信による共感・関心を広げ、県民の行動変容を促す。	「若者が主役の環境保全活動アイデアコンテスト」を次のとおり開催した。 募集期間 6/24～9/11 → 応募数 11件 コンテスト開催 10/20 → 5件参加のうち3件を表彰 活動報告会 3/8に開催するなど継続して支援	継続	若者の創意工夫による環境保全活動のアイデアコンテストを開催し、活動への支援を行う。 事業概要 1 協力団体等の把握 2 コンテストの開催 3 受賞者の活動への支援と活動状況の把握
6		05環境		循環型社会推進課	子どもエコクラブへの支援	子どもたちの身近な自然を大切にすること、問題解決のために自ら考えて行動する力を育み、地域に根ざした環境保全活動の環が広がるよう、子どもエコクラブの活動を支援する。	県ホームページ等での情報提供、活動状況の紹介等	継続	県ホームページ・SNS等での情報提供、活動状況の紹介等		
7		02総企		水政課	再掲	水のはなし	「水のはなし」は、水の重要な役割、水資源の貴重さ及び有限性など、次世代を担う子供達をはじめとして、広く県民の理解や関心を深めることを目的に作成されたもので、千葉県ホームページで公開している。	内容を見直しデータの更新作業を行った。(外部委託)	継続	必要に応じて、内容を見直しデータの更新作業を行う。(外部委託)	
8		02総企		水政課	再掲	全日本中学生水の作文コンクール	「水の日」及び「水の週間」関連行事の一環として、次代を担う中学生を対象に作文を募集する。(テーマ「水について考える」)なお、優秀な作文について表彰式を執り行う。	県内各地から120編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞2編、奨励賞2編、学校賞1校を選定した。 (主催者:水循環政策本部・国土交通省・千葉県) 1. 作品募集 募集テーマ:「水について考える」、募集対象者:県内在住・在学の中学生、募集期間:3月8日～5月9日、応募数:120編 2. 表彰 千葉県自治会館にて表彰式を実施。	継続	募集テーマ:「水について考える」 募集対象:県内在住・在学の中学生 募集期間:令和6年11月8日～令和7年5月9日必着	
9		(3)指導者等の人材の活用	・学校や地域において環境学習等を実践している指導者やコーディネーター等の人材を把握し、必要とされる場へ人材をつなぐことができる仕組みづくりを進めます。	05環境	循環型社会推進課	本籍	ちば環境学習応援団	講師派遣や施設見学、体験活動などに協力いただける事業者等を県のホームページ等で紹介し、県民などの自主的な環境学習や環境保全活動を支援する。	県ホームページを通じて登録団体を募集するとともに、県民等の環境学習に活用されるよう、広く制度の周知を行った。 登録団体数:延べ24団体、活動回数234回、4,281名受講	継続	県ホームページへの掲載や広報チラシの作成等
10		(4)県の率先取組		05環境	環境政策課		環境研修の実施	新規採用職員研修などの場で職員に対する環境研修を実施する。	実績なし	継続	未定
11				05環境	循環型社会推進課		職員によるフードドライブの実施	家庭で余っている食べ物を県職員が持ち寄り、フードバンクちばに寄附を行う。	実施回数3回 計191.1kg寄附	継続	実施回数3回を予定(6月・10月・2月)
12	2 情報発信・普及啓発	(1)環境学習等に関する情報の集約・提供	・各主体と連携・協働し、県内各地で行われている環境学習等に関する講座やイベント、指導者等の人材やプログラム・教材、環境保全活動への助成制度等、環境学習等の実践に役立つ情報を集約し、広くインターネット等を活用して提供します。 ・県が調査測定した環境データや調査研究の成果など、環境学習の素材となりうる情報を、広報誌やインターネット等を活用して分かりやすく提供します。	05環境	温暖化対策推進課		ホームページによる省エネ・節電情報の提供	家庭や職場の省エネ・節電に役立つ参考情報をホームページで公開する。	国や県における省エネ・節電に関する情報等を県ホームページにて公開した。	継続	夏季及び冬季に向けて、内容の修正を行う。
13				05環境	環境研究センター		環境研究センター・環境だよりの発行	県民や関係機関がセンターの研究活動等を理解し関心を持つことを目的として環境研究センター・環境だよりを発行する。	発行回数:2回	継続	環境研究センター・環境だよりを発行する。
14				05環境	環境研究センター		年報の発行	センターが行った調査研究業務の成果として年報を発行する。	発行回数:2回(業務概要と調査研究報告)	継続	年報を発行しHPに掲載する。
15				07農林	漁業資源課 (水産総合研究センター内水面水産研究所)		内水面水産研究所運営費	小中学生を含む一般県民に対し、内水面漁業や水産動植物に関する情報、水辺環境の保全技術、魚介類の増殖技術に関する技術指導などを「魚にやさしい水辺づくり相談窓口」の開設や「展示室」の公開により情報提供を行う。	・水辺相談等3件に対応した。 ・展示室を公開し、85名が来所した。	継続	小中学生を含む一般県民に対し、内水面漁業や水産動植物に関する情報などを「魚にやさしい水辺づくり相談窓口」の開設や「展示室」の公開により情報提供を行う。
16				09企業	総務企画課		環境報告書	環境負荷の状況、環境会計情報、環境保全の取組等を報告書として取りまとめ、県ホームページで公開する。	各種環境データの集計及び報告書の作成を行い、県ホームページ上で公開した。	継続	報告書の作成及び県ホームページ上での公開
17				09企業	業務振興課		広報用パンフレット 「ちばの水道」 「わたしたちの水道」 「千葉県企業局事業概要」	「ちばの水道」は大人向け、「わたしたちの水道」は小学校向けの浄水場見学者パンフレットであり、浄水工程などを記載。「千葉県企業局事業概要」は歴史と概要を記載し、英語版も作成する。	広報用パンフレットの配布を継続して実施した。	継続	広報用パンフレットの配布
18				09企業	業務振興課		広報用DVD	上水道事業の概要や各浄水場を紹介するDVDを作成し、浄水場見学会等で視聴、DVDの貸出及び県ホームページで公開する。	広報用DVD等の貸出を継続して実施した。	継続	小学生等を対象としたDVDの貸出

「千葉県環境学習等行動計画」関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R6年度	R7年度	
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	状況	事業予定
19	(2)時代のニーズに合わせた情報発信・普及啓発	・気候変動、生物多様性、海洋プラスチックごみ、食品ロスなど、時代のニーズに応じたテーマについて、一人ひとりが日々の暮らしの中で実践できる取組など、行動に結び付けるための効果的な情報発信・普及啓発を行います。 ・若者や環境問題に関心の低い人が、気軽に環境学習等へ参加するためのきっかけを作っていくため、インターネットやSNSを活用した情報発信・普及啓発を行います。	05環境	大気保全課		化学物質啓発推進事業	県民の化学物質に関する理解を深め、事業者による化学物質の適正な管理を促進するため、化学物質に係る講習会等を開催する。	・県民向けに化学物質に関するセミナーを開催した。 ・Zoomを用いたオンライン開催 ・デジタル推進課所管のYouTubeチャンネル「千葉県公式セミナーチャンネル」における動画配信 ・参加人数:37名 ・視聴回数:223回	継続	県民又は事業者を対象とした研修会等を実施予定。
20			05環境	水質保全課		印旛沼・手賀沼及びその流域における特定外来水生植物の防除・拡散防止に係る普及啓発資料の作成	昨年度実施した「湖沼における外来水生植物対策事業」の結果を踏まえ、上流部にあたる印旛沼・手賀沼流域の市民団体や事業者、市等に対し、本事業の内容の周知や、市民団体が防除の際などに、新たな拡散に繋がらないよう、正しい知識の普及啓発を図るための資料を作成する。	印旛沼・手賀沼の外来水生植物対策について、ホームページでの情報発信を行った。	継続	印旛沼・手賀沼の外来水生植物対策について、ホームページでの情報発信を行う。
21			05環境	自然保護課		生物多様性サテライト事業	生物多様性のパネル展示、パンフレットの配布、地元の自然等の情報提供を行う常設コーナーを集客施設、大学、企業等の協力を得て設置する。これまでに設置した12か所に加え、新たな設置を目指す。	生物多様性サテライト14か所の設置 (内1箇所休館中)	継続	・設置済み施設での情報発信 ・新たな施設での設置に向けた取組
22			05環境	自然保護課		生物多様性の普及啓発事業	生物多様性の現状や重要性などを広く普及啓発するために、市町村の環境フェア等において巡回展示を行うほか、エコメッセちばに出展する。	市町村の環境フェア等での巡回展示・講座を10回実施 エコメッセ2024inちばに出展	継続	・市町村の環境フェア等での巡回展示・講座(オンラインを含む) ・エコメッセちば2024inちばへの出展
23			05環境	自然保護課		生物多様性の多様な主体への広報啓発事業(情報誌等の作成配布)	千葉県生物多様性センターのHPを運営し、情報発信・情報提供を行うとともに、生物多様性に関するニュースレターやパンフレット等を作成し、県内図書館・市町村等を通じての配布や各種環境イベント等での参加者への配布等を行う。	・千葉県生物多様性センターHPの運営 ・生物多様性ちばニュースレターの発行 年4回	継続	生物多様性ちばニュースレターの発行 年4回 生物多様性センターHPの運営
24			05環境	自然保護課		生物多様性の企業向けセミナーの開催	企業にとって参考になる先進的な取組み情報等を提供するために企業セミナーを開催する。	・企業と生物多様性セミナーの開催 年1回	継続	企業と生物多様性セミナーの開催 年1回
25			05環境	温暖化対策推進課		次世代自動車普及啓発事業	地球温暖化対策や大気汚染防止対策の観点から、県や各市町村が主催・共催するイベントで燃料消費量や地球温暖化の原因となる二酸化炭素排出量が少なく環境に優しい次世代自動車(燃料電池自動車、電気自動車)の展示等による啓発を行う。	ホームページで次世代自動車に関する情報発信を行ったほか、県や市町村主催の環境イベントにおいて次世代自動車(燃料電池自動車、電気自動車)を出展し、啓発品の配布を行った。 R6年度次世代自動車出展回数:12回	継続	県や市町村主催の環境イベントにおける普及啓発の実施
26			05環境	温暖化対策推進課		エコドライブの普及促進	自動車の運転方法を工夫することで環境負荷の低減、燃費の改善及び交通事故防止対策につながる一石三鳥の取組である「エコドライブ」の実践を働きかける。	ホームページでエコドライブに関する情報提供を実施したほか、県や市町村主催の環境イベントにおいてエコドライブシミュレータ等を活用し、エコドライブの実践を働きかけた。 R6年度ドライブシミュレータ出展回数:11回	継続	県や市町村主催の環境イベントにおける普及啓発の実施
27			05環境	循環型社会推進課	本籍	3R推進事業	3Rの推進を図るため、ごみを減らすために、身の回りのできることを実践するライフスタイル「ちばエコスタイル」の普及啓発を実施する。	・環境月間や3R推進月間などの機会を捉え、リーフレット、ホームページ、SNS等を活用し、「ちばエコスタイル」の普及に取り組んだ。 ・県内事業者等と連携し、各種イベント等で啓発を実施した。 ・各種イベントにて、「ちばエコスタイルパートナー」登録制度の周知を図った。 ○「ちばプラごみ削減パートナー」登録事業者数:55事業者2,288店舗(3月31日時点) ○「ちば食品ロス削減パートナー」登録事業者数:88事業者3,436店舗(3月31日時点)	継続	・環境月間や3R推進月間などの機会を捉え、リーフレット、ホームページ、SNS等を活用し、「ちばエコスタイル」の普及に取り組む。 ・県内事業者等と連携し、各種イベント等で啓発を実施する。 ・「ちばエコスタイルパートナー」登録制度の周知を図る。
28			05環境	循環型社会推進課	本籍	食品ロス削減対策推進事業	消費者、事業者等が食品ロス削減について理解と関心を深め、それぞれの立場から取り組むことを促進するよう、普及啓発を図る。	・10月の「食品ロス削減月間」を中心に、リーフレットやポスター等による情報発信を行うとともに、「ちば食品ロス削減パートナー」登録制度の周知を行った。 ・県内のコンビニエンスストア、食品スーパー等において「てまえどり」の啓発を実施した。 令和6年度「てまえどり」啓発実施店舗 2,924店	継続	・イベント出展やSNS等による情報発信を行う。 ・「ちば食品ロス削減パートナー」登録制度の周知を図る。 ・「てまえどり」など、事業者と連携した啓発を行う。
29			05環境	温暖化対策推進課		気候変動の影響への適応に関するセミナー	気候変動の現状及び将来の状況、その影響に対して県民等がどのように対応したらよいか、気象の専門家や適応に係る専門家などを招き、講演を行う。	・親子で学ぶ温暖化対策セミナー 8月に、県内の大型商業施設で、気象予報士の講演も交え、小学生とその保護者を主な対象とし、温暖化・気候変動の影響及び緩和策と適応策(防災対策や熱中症対策)について紹介した。 参加者数:約100名	継続	・県民向け熱中症対策啓発セミナーを開催する予定。
30			05環境	温暖化対策推進課		脱炭素型ライフスタイル構築に向けたキャンペーン事業	地球温暖化への関心が低い若年層を中心とした県民の意識改革と行動変容を促すことを目的として、県内事業者と連携し、イベント出展やセミナー・ワークショップ開催などにより、地球温暖化対策の普及啓発に係るキャンペーンを展開する。	・イベントブース出展(3回) ・熱中症対策セミナー(8月)※No.33の再掲 ・大学生イベント企画体験ワークショップ(6~12月) ・地球温暖化対策ロゴマークの制作 ・ちば脱炭素ポータルサイトの構築	新規	
31			05環境	循環型社会推進課		バイオマス活用推進事業	各種イベントにおいてパンフレット・啓発物品を配布するなどして、バイオマス活用の普及啓発を行う。 また、バイオマスの利活用に関する県民や事業者等の理解を深めてもらうことを目的とし、バイオマスに関する基礎的な講義や市町村・企業の取組を紹介するバイオマス利活用研修会を開催する。	・バイオマス製品の普及啓発のため、R6.6.23に開催された「ちばミライフスティバル」ではバイオマスに関するパンフレットや木質ストラップを配布した。また、R6.10.20に開催された「エコメッセ」に参加し、バイオマスクイズを実施・クイズ参加者に木質ストラップを配付した。 ・市町村・事業者・県民におけるバイオマスの利活用を促進するため、R7.1.14に「バイオマス利活用研修会」を開催した。 令和6年度 研修会参加者数:35名	継続	啓発物品の配付やバイオマス利活用研修会を開催する。
32			09企業	計画課		安全・おいしい水プロジェクト2021-2025リーフレット	千葉県営水道で取り組んでいるおいしい水づくりの概要を出前講座などの各種イベントで周知するため作成する。	「安全・おいしい水プロジェクト2021-2025」の概要をまとめたリーフレットを製作し配付した。	継続	「安全・おいしい水プロジェクト2021-2025」の概要をまとめたリーフレットの配付
33	02総企	政策企画課		SDGsセミナー	県内企業等に対し、ちばSDGs/パートナー登録制度やSDGs達成に向けた取組の促進をテーマとしたセミナーを開催し、SDGsの取組の更なる充実や連携による新たな展開を促す。	登録の有無に関わらず、SDGsに取り組む意思のある方や興味のある方を対象にセミナーを1回にまとめて開催	継続	登録の有無に関わらず、SDGsに取り組む意思のある方や興味のある方を対象にセミナーを1回にまとめて予定		

「千葉県環境学習等行動計画」関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R6年度	R7年度			
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	状況	事業予定		
34	3 プログラム・教材の整備	(1)プログラム・教材の作成 ・多様な主体と連携・協働し、発達段階や学習段階に応じ、本県の自然や文化、産業等の地域特性を考慮した内容のプログラム・教材の作成を進めます。 ・プログラム・教材の作成に当たっては、遊びやゲームの要素を取り入れたり、SDGsと関連付け等の工夫を行うとともに、インターネット・SNSを活用する等、若者や環境に関心の低い人の興味や関心を喚起する内容・手法を検討します。	02総企	水政課	本籍	水のはなし	「水のはなし」は、水の重要な役割、水資源の貴重さ及び有限性など、次世代を担う子供達をはじめとして、広く県民の理解や関心を深めることを目的に作成されたもので、千葉県ホームページで公開している。	内容を見直しデータの更新作業を行った。(外部委託)	継続	必要に応じて、内容を見直しデータの更新作業を行う。(外部委託)		
35			05環境	水質保全課		「印旛沼環境学習指導案集」の作成	環境学習の実施をサポートすることを目的に、小中学校の教員が、日々の授業に無理なく印旛沼やその流域についての学習内容を取り込むことができるよう、小中学校学習指導要領に沿った指導案集を作成する。	指導案集の活用を推進するため、印旛沼流域の公立小中学校教員を対象とした研修動画をオンデマンド配信した。	継続	「印旛沼環境学習指導案集」の利用促進に向けてさらなる啓発を行う。		
36			05環境	循環型社会推進課		海岸漂着物発生抑制対策事業	海岸漂着物は県民生活に伴って発生するごみも多く漂着していることから、県内すべての地域における課題であることをPRするため、海岸漂着物等の発生抑制に向けた啓発事業を実施する。	海洋プラスチックごみ及び海岸漂着物に関する啓発を実施した。	継続	・海洋プラスチックごみ及び海岸漂着物に関する啓発を実施する。 ・県下一斉啓発を実施する。		
37			05環境	環境研究センター		環境動画の配信	環境や環境問題の現状について関心を高め、理解を深めるとともに、環境学習・環境保全活動を推進する人材の育成を行うことを目的とした環境動画を配信する。	視聴回数: 80,765回(2024/04/01~2025/03/31)	継続	環境学習コンテンツの制作を行う。		
38			06商工	観光政策課 (※R5まで観光誘致促進課)		教育旅行体験プログラム造成事業	千葉県内に教育旅行を誘致するため、学校からのニーズが高い探求学習やキャリア教育、SDGs等の学習要素を取り入れた体験プログラムの造成に必要な支援等を実施します。	・体験プログラムの造成支援 計6本の体験プログラムの造成支援を行うとともに、R4、5年度に造成支援したプログラム9本の磨き上げのため、研修会と個別フォローを行った。 ・生徒用学習ノートの作成 計1,000部作成し、小中学校や旅行会社等に配布することで、プログラムの周知を図った。 ・教育旅行誘致のためのパンフレット作成 計1,000部作成し、小中学校や旅行会社等に配布することで、プログラムの周知を図った。	継続	千葉県内に教育旅行を誘致するため、学校からのニーズが高い探求学習やキャリア教育、SDGsの学習要素を取り入れた体験プログラムの造成に必要な支援等を実施する。 R7年度からは千葉県観光物産協会への包括委託業務に含めて実施する。		
39			09企業	計画課		安全でおいしい水づくりPR動画	千葉県営水道のマスコットキャラクターポタリちゃんが浄水場のしくみや水の大切さなどを紹介する動画を制作し、県ホームページで公開する。	「ポタリちゃんの水道講座 凝集沈でん編」をHPに掲載した。	継続	「ポタリちゃんの水道講座 ろ過・消毒編」のHP掲載		
40			05環境	温暖化対策推進課		仮想空間を活用した地球温暖化対策普及啓発	カーボンニュートラルの生活やまちづくりを体験できる仮想空間を開発し、こどもたちを中心に遊びの要素を取り入れながら、地球温暖化対策の普及啓発を図ります。	マインクラフトを活用し、次世代を担う子どもたちを主な対象とした地球温暖化対策を楽しむながら学べるコンテンツ「MINECOOLAFT CHIBA(マインクラフト チバ)〜カーボンニュートラルな未来へ〜」を開発(R7.2.7公開)。1人で遊ぶRPGモードと小・中学生の授業等での利用を想定した教育モードを実施。 ダウンロード件数(R7.3.31時点) ・RPGモード 527件 ・教育モード 236件	継続	開発した仮想空間を活用した普及啓発(啓発手段) ・小中学生向け教材としての活用 ・イベント等での体験ブース出展 ・ホームページからのダウンロード促進		
41			(2)プログラム・教材の活用	・県が保有するプログラム・教材について、貸し出しやホームページへの掲載等を通じて、学校や地域での活用を促進します。 ・国、民間団体、事業者等、他団体が保有する優れたプログラム・教材に関する情報を収集し、学校や地域において活用されるよう、インターネット・SNSを通じた周知・情報提供に取り組みます。	05環境	循環型社会推進課		環境学習教材等の貸出・ホームページ掲載	・県が保有するプログラム・教材について、環境研究センターでの貸し出しや県ホームページへの掲載等を通じて、学校や地域での活用を促進する。 ・環境研究センターでの教材等の貸出 ・県ホームページへの掲載	継続	・環境研究センターでの教材等の貸出 ・県ホームページへの掲載	
42			4 参加の場と機会の提供	(1)体験の機会の場の認定	05環境	循環型社会推進課		体験の機会の場の認定	環境教育等促進法に基づく体験の機会の場の認定を行う。	SNSや県ホームページ、啓発イベントを通じて認定制度や認定の場についての周知を図った。 認定の場での体験活動: 6回80名(R6年度)	継続	県ホームページなどにより体験の機会の場認定制度の周知や、認定の場の活用促進を図る。
43			(2)多様な学習機会の提供	・様々な分野、幅広い地域や世代に応じた学習会、講演会、自然観察会、施設見学等の開催や、学校や地域等で行う環境学習の場への講師派遣等を通じて、多様な学習機会の提供に努めるとともに、インターネット・SNSの活用等、時代のニーズに合わせた柔軟な手法で学習機会の提供を進めます。	04健福	高齢者福祉課		千葉県生涯大学の運営	地域の活性化に資する人材を育成するため、高齢者に対し自然環境の保全などの学びを提供する。	「千葉ふるさとづくりコース」及び「ふるさとささえあいコース」で、自然環境の保全等に関する授業を実施した。	継続	「千葉ふるさとづくりコース」及び「ふるさとささえあいコース」で、自然環境の保全等に関する授業を展開する。
44	05環境	自然保護課 (大房岬自然公園)		講師派遣		公園を訪れる団体等からの要請に応じ、公園の自然案内や野外活動の指導を行う。また、海岸清掃などのボランティア活動イベントの際に環境に関する説明を行う。	公園を訪れる団体等からの要請に応じ、公園の自然案内や野外活動の指導等を随時実施した。	継続	自然案内や野外活動の指導、ボランティア活動イベント等の実施			
45	05環境	自然保護課 (いすみ環境と文化のさとセンター)		環境学習プログラムの実施		田植え(5月)、稲刈り(9月)、お飾りづくり(12月)など、季節に沿った行事を毎月実施している。また、生物の観察会の際には、生物への理解を深めるため、生態について説明を行っている。	各種プログラム・イベントに延べ1029名が参加した。	継続	各種プログラム・イベントの実施			
46	05環境	自然保護課 (大房岬自然公園)		環境学習プログラムの実施		小学生を対象とした自然調査のプログラム(岬レンジャー)、公園内に生息する野生生物を観察する夜の生き物ツアーなどを実施し、自然についての体験と理解を深めるイベントを行っている。	各種プログラム・イベントに延べ618名が参加した。	継続	各種プログラム・イベントの実施			
47	05環境	自然保護課 (行徳鳥獣保護区)		環境学習プログラムの実施		行徳鳥獣保護区内において自然観察会を行う。	・毎日曜日に鳥獣保護区を利用した観察会を開催した(年間約56回)	継続	自然観察会の実施			
48	05環境	自然保護課		生命(いのち)のにぎわい調査団事業		生物多様性に関心が高い県民が調査団員となり、身近な生物や外来生物などについて発見情報を報告してもらう「生命のにぎわい調査団」を運営して、団員向けに団通信を発行する。	生命(いのち)のにぎわい調査団員数 1,859名 生命(いのち)のにぎわい通信の発行 年4回 団員向け野外研修会を2回開催	継続	・「生命のにぎわい調査団」の運営 ・生命(いのち)のにぎわい通信の発行 年4回 ・団員向け研修会 年2回			
49	05環境	循環型社会推進課	再掲	ちば環境学習応援団		講師派遣や施設見学、体験活動などに協力いただける事業者等を県のホームページ等で紹介し、県民などの自主的な環境学習や環境保全活動を支援する。	県ホームページへの掲載や広報チラシの作成等	継続	県ホームページへの掲載や広報チラシの作成等			
50	05環境	温暖化対策推進課		千葉県地球温暖化防止活動推進員出前講座		県内各地域で開催される研修会や講習会等に千葉県地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣する。	派遣件数: 102件、参加者数: 3,073人	継続	出前講座への推進員の派遣			
51	05環境	環境研究センター		全国水生生物調査		身近な自然とふれあうことで、環境への関心を高めるとともに水質環境保全の普及啓発を図ることを目的として、全国水生生物調査の活動を支援する。	参加者: 182名	継続	全国水生生物調査の活動を支援する。			
52	05環境	環境研究センター		講師等の派遣事業		県、市町村、民間団体が開催する研修会、講習会等に講師を派遣する。	公開講座の開催: 3回 講師派遣数: 34件	継続	公開講座の開催や研修会、講習会等に講師を派遣する。			

「千葉県環境学習等行動計画」関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R6年度	R7年度		
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	状況	事業予定	
53	(3)環境学習関連施設等の活用と連携・協働の促進	・環境学習の機会を提供する社会教育施設や民間の学習施設、自然体験の場等の連携・協働を促進し、各施設等の質の向上を図るとともに、学校や地域等における活用促進を図ります。	07農林	漁業資源課 (水産総合研究センター 内水面水産研究所)		内水面水産研究所運営費	公民館やNPO団体主催の公開講座等に講師を派遣するとともに、県庁インターンシップ研修生や職場体験学習を受け入れ、内水面漁業や水産動植物に関する情報、水辺環境の保全に関する啓発を行い、環境学習を支援する。	・佐倉市内の公民館等が主催する公開講座に講師を派遣し、湖沼の生態系について情報提供した(3件)。	継続	公民館やNPO団体主催の公開講座等に講師を派遣し、環境学習を支援する。	
54			09企業	計画課		水道出前講座	紙芝居や実験などを通して、水道水や千葉県水道の安全でおいしい水づくりについてお知らせする水道出前講座を開催する。	給水区域内の小学校や自治会などを対象として、水道出前講座を34回実施し、紙芝居や実験などを通して、県営水道の安全でおいしい水づくりの周知を図った。	継続	給水区域内の小学校や自治会などを対象として、水道出前講座を実施	
55			09企業	計画課		おいしい水検定	おいしい水検定	オフィシャルサイトを通じて、安全でおいしい水道水全般に関する内容や県営水道の取組などについて出題し、お客様に解答いただくことで、水道水の理解を深めていただく。	給水区域のお客様を対象に、おいしい水検定を実施するとともに、安全でおいしい水づくりの周知を図った。受検者数: 378名	継続	給水区域のお客様を対象に、おいしい水検定を実施
56			05環境	自然保護課 (いすみ環境と文化のさとセンター)		環境学習施設の利用	環境学習施設の利用	ネイチャーセンター(展示、図書、視聴覚コーナー、工作室等を設置)、生態園、デイキャンプ場などでの自然環境と文化に関する情報の提供及び啓発を実施するとともに、センター地区を利用した環境学習の機会を提供する。	センター地区において、ガイドウォーク(604名参加)、ネイチャーセンターでミニ講座(55名参加)を実施した。	継続	センター地区を利用した環境学習の機会の提供等
57			05環境	自然保護課 (大房岬自然公園)		環境学習施設の利用	環境学習施設の利用	大房岬ビジターセンターにおいて、国定公園内に位置する大房岬の自然、地理、歴史、文化などに関する展示を行い、環境学習の素材を提供する。また、園内での危険生物等についての周知と対策について、インフォメーションセンター及びビジターセンターで掲示物を含め職員が啓発活動を行う。	・ビジターセンター展示室において生体展示を実施した。 ・ビジターセンター入口にテレビモニターを設置し、生き物の動画等のスライドショーを流した。	継続	展示等による環境学習素材の提供等
58			05環境	環境研究センター		環境研究センター施設見学・講義受け入れ・環境学習施設の運営	環境研究センター施設見学・講義受け入れ・環境学習施設の運営	施設見学や講義の受け入れを行う。また、図書コーナーや展示コーナーを備え、環境に関する啓発事業を実施する。	施設見学数: 4件	継続	施設見学・講義受け入れ・環境学習施設の運営を行う。
59			06商工	カーボンニュートラル推進課 (※R6まで産業振興課)		千葉県次世代エネルギーパーク	千葉県次世代エネルギーパーク	本県の地域特性であるエネルギー関連産業・設備の集積を活用し、エネルギー見学・体験施設をネットワーク化し、次世代エネルギー等について、県民等への理解増進を図る。	・ガイドブック(エネバガイド)の更新依頼対応 ・登録施設、見学内容の県ホームページへの掲載	継続	・ガイドブック(エネバガイド)の更新依頼対応 ・登録施設、見学内容の県ホームページへの掲載
60			07農林	森林課		県民の森事業	県民の森事業	自然体験等を通じて県民の健康増進及び青少年の健全な育成を図るため、県民の森(6施設)の管理運営を行う。	各施設において自然体験等イベント事業を実施した。 (施設利用者数 811,313人(6施設合計))	継続	各施設において自然体験等イベント事業を実施する。
61			07農林	森林課		「県民参加の森づくり」ネットワーク支援事業	「県民参加の森づくり」ネットワーク支援事業	里山活動ボランティアや森林環境教育といった「県民参加の森づくり」を促進するため、県域で指導的活動を実施している団体のネットワーク化を支援するとともに、ネットワークを活用し、森林環境教育の実施に向けた市町村支援を行う。(※R6新規)	・教育の森の現況調査や活用検討 ・森林環境教育等の研修実施 ・森林環境教育に取り組む市町村等の支援	継続	・教育の森等のフィールド整備 ・森林環境教育に取り組む市町村等の支援 ・里山活動を安全に実施するための講習会実施
62			05環境	文化振興課 (中央博物館)		環境学習・自然観察に関わる各種講座・観察会	環境学習・自然観察に関わる各種講座・観察会	環境について学ぶ講座や野外の自然・生きものを観察する観察会等の各種行事を実施する。	環境について学ぶ講座や野外の自然・生きものを観察する観察会等の各種行事を実施した。 ・講座・観察会「自然いろいろ」12回(2回荒天中止)、参加者数156人 ・「教員のための博物館の日」2回、参加者数10人	継続	環境について学ぶ講座や野外の自然・生きものを観察する観察会等の各種行事の実施を予定している。 ・講座・観察会「自然・環境」15回 ・「教員のための博物館の日」2回
63			05環境	文化振興課 (中央博物館)		自然誌フェスタ千葉	自然誌フェスタ千葉	千葉の自然や文化にかかわる市民活動の成果を展示や体験イベントをとおして紹介する。	11月3日(文化の日)に開催し、9団体が出展、1,900人の来場者があった。	継続	11月3日(文化の日)に予定している。
64			05環境	文化振興課 (中央博物館分館海の博物館)		海の生きものを観察する各種行事	海の生きものを観察する各種行事	観察会やフィールドトリップなど、博物館の目の前の磯で、海の生きものを観察する各種行事を実施する。	・観察会9件(うち1件は荒天のため中止)、参加者数86名 ・フィールドトリップ10件(うち1件は荒天のため中止)、参加者数148名 ・みんなで工作6件、参加者数130名 ・体験コーナー38件、参加者数353名 合計63件で参加者数717名の参加があった(2025年3月31日時点)	継続	・観察会やフィールドトリップなど、博物館の目の前の磯で、海の生きものを観察する各種行事を実施する。 ・実施予定件数: 68件
65			05環境	文化振興課 (中央博物館分館海の博物館)		海の生きものに関する展示会	海の生きものに関する展示会	収蔵資料展、マリンサイエンスギャラリーなど、海の生きものを紹介する展示会を実施する。	・令和6年度夏休みスペシャル「勝浦・磯の生きものミニ水族館」: 会期2024年7月13日～9月1日、入場者数28,187人 ・令和6年度マリンサイエンスギャラリー「超深海」: 会期2025年2月22日～5月11日、入場者数21,485人(うち令和6年度中入場者数10,597人)	継続	・令和7年収蔵資料展「それはゴカイだ!!!」 ・令和7年度マリンサイエンスギャラリー「うみ鳥つづー海鳥と旅する食物連鎖の世界ー」
66			05環境	文化振興課 (中央博物館)		トピックス展「生命(いのち)のにぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」	トピックス展「生命(いのち)のにぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」	千葉県生物多様性センターの事業「生命のにぎわい調査団」の団員が撮影した写真を展示し、身近な生き物の魅力を伝えるとともに、生き物の生態について紹介する。		廃止	環境学習に関わるトピックス展等に統合
67	05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展「生態園の野鳥たち」	生態園トピックス展「生態園の野鳥たち」	生態園で見られる多くの野鳥たちを、標本や写真などで紹介する。		廃止	環境学習に関わる生態園での展示に統合		
68	05環境	文化振興課 (中央博物館)		春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」	春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」	県内各地の学校に残る古い生物標本や生物部誌を紹介する。		廃止	環境学習に関わる特別展、季節展示等に統合		

「千葉県環境学習等行動計画」関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R6年度	R7年度	
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	状況	事業予定
69			05環境	文化振興課 (中央博物館)		文化庁合同特別展示「発掘された日本列島」(地域展「大多喜台古墳群の鏡がうつし出す時代」)	近年の発掘調査で注目を集めた遺跡や全国各地の歴史を紹介する。地域展では大多喜台古墳群出土の鏡について紹介する。		廃止	環境学習に関わる特別展、季節展示等に統合
70			05環境	文化振興課 (中央博物館)		特別展「万祝博覧会―海をまとう―」	大漁などを祝って作る漁師の祝い着「万祝」をさまざまな視点から紹介する。		廃止	環境学習に関わる特別展、季節展示等に統合
71			05環境	文化振興課 (中央博物館)		秋の展示「二口義雄植物画展」	日本の植物画家の草分けである二口義雄氏の原画を展示する。		廃止	環境学習に関わる特別展、季節展示等に統合
72			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展「生態園の地衣類」	生態園に生育する地衣類を紹介する。		廃止	環境学習に関わる生態園での展示に統合
73			05環境	文化振興課 (中央博物館)		トピックス展「地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生～」	千葉県教育振興財団が発掘した旧石器・縄文・弥生時代の考古資料を展示する。		廃止	環境学習に関わるトピックス展等に統合
74			05環境	文化振興課 (中央博物館)		トピックス展「十二支にちなんで―巳年―」	令和7年の十二支である「巳(蛇)」にかかわる資料を展示する。		廃止	環境学習に関わるトピックス展等に統合
75			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展「生態園からはじめる房総の自然観察」	生態園のモデルとなった房総の現地の自然について紹介する。		廃止	環境学習に関わる生態園での展示に統合
76			05環境	文化振興課 (中央博物館)		春の展示「房総のミニチュア「生態園」～日本初のエコロジー・パークの35年～」	生態園を調べ続けてきた研究員たちの35年間の活動とその成果を紹介する。		廃止	環境学習に関わる特別展、季節展示等に統合
77			05環境	文化振興課 (中央博物館)		環境に関わる特別展、季節展示等	第一企画展示室で、環境に関連する展示会を大規模に開催する。	特別展「万祝博覧会―海をまとう―」59日間開催、12,990名来館 春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」56日間開催、10,386名来館 秋の展示「二口義雄植物画展」38日間開催、9,823名来館 春の展示「房総のミニチュア「生態園」～日本初のエコロジー・パークの35年～」(令和6年度実績)32日間開催、6,522名来館 文化庁合同特別展示「発掘された日本列島」(地域展「大多喜台古墳群の鏡がうつし出す時代」)33日間開催、9,141名来館	継続	特別展「房総うみの幸 大百科―千葉の豊かな海と食文化―」令和7年7月12日(土)～9月23日(火・祝) 春の展示「房総のミニチュア「生態園」～日本初のエコロジー・パークの35年～」令和7年2月22日(土)～6月8日(日) 秋の展示「水辺の昆虫」令和7年10月18日(土)～12月21日(日) 春の展示「生薬～自然からの恵み」令和8年3月14日(土)～6月15日(月)
78			05環境	文化振興課 (中央博物館)		環境に関わるトピックス展等	第二企画展示室や廊下等で、環境に関連する展示会を中規模～小規模に開催する。	トピックス展「生命(いのち)のにぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」会期中9,719名来館 トピックス展「地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生～」37日間開催、6,395名来館 トピックス展「十二支にちなんで―巳年―」22日間開催、3,832名来館	継続	トピックス展「生命(いのち)のにぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」令和7年3月11日～5月6日 トピックス展「民俗学の父・柳田國男一本から読み解く暮らしへのまなざし」令和7年4月15日(火)～6月15日(日) トピックス展「利根川の高瀬船」令和7年10月11日(土)～12月7日(日) トピックス展「十二支にちなんで―巳年―」令和7年12月16日(火)～令和8年1月25日(日) トピックス展「地中からのメッセージ～古墳・古代・中近世～」令和8年1月17日(土)～2月23日(月・祝) トピックス展「式年神幸祭記念 香取神宮展」令和8年3月14日(土)～5月31日(日)
79			05環境	文化振興課 (中央博物館)		環境に関わる生態園での展示	生態園で、環境に関連する展示会を開催する。	生態園トピックス展「生態園の野鳥たち」101日間開催、14,257名来館 生態園トピックス展「生態園の地衣類」59日間開催、7,678名来館 生態園トピックス展「生態園からはじめる房総の自然観察」(令和6年度実績)32日間開催、8,882名来館	継続	生態園トピックス展「生態園からはじめる房総の自然観察」令和7年2月1日(土)～6月29日(日) 生態園トピックス展「生態園のアブラムシ」令和8年2月14日(土)～5月31日(日)
80			05環境	文化振興課 (現代産業科学館)		工作教室	電気の省エネを進めるため、太陽電池やLEDを使ったライトを作成するなどし、環境について学習する。	講座前半で、LEDの特性や電球との違いを映像資料や実際に体験しながら学んでもらい、後半で実際にLEDミニライト作りを体験した。総参加者153名。LEDの仕組みや用途なども含め、エネルギー科学に対する興味・関心を高めることができた。	継続	引き続き、LEDミニライト作りを通してLEDライトの特性を学んでもらい、参加者の科学への興味関心を高めさせていく。
81			05環境	文化振興課 (現代産業科学館)		常設展示「地球環境を守る技術」	化石燃料に替わるエネルギー供給源として、太陽光発電、バイオエタノールや水素を使った燃料電池、風力発電などを、パネルや実験装置等により紹介	地球を汚さず、人に優しく、優れた洗浄力、除菌力をもつ「強アルカリ電解水」の生成に関わる資料を展示し、新たな科学技術の紹介をした。	継続	引き続き、地球環境を守るための様々な科学技術を紹介していく。

「千葉県環境学習等行動計画」関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R6年度	R7年度	
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	状況	事業予定
82			05環境	文化振興課 (現代産業科学館)		常設展示「地球環境の変化」	地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊などをパネルにより紹介併せて、アルミ、ガラス、PETのリサイクルについて、パネルや実物資料を交え紹介	見学者数144,004名	継続	引き続き、地球環境の変化と人間活動との関わりや環境負荷を低減させるための取組などを紹介していく。
83			05環境	文化振興課 (関宿城博物館)		河川敷のいきものさがし	利根川・江戸川の河川敷に生息するいきもの観察を行う。	年2回実施。延べ24名参加。	継続	計2回実施予定。
84			05環境	文化振興課 (関宿城博物館)		博物館セミナー	関宿周辺の動植物や河川について学ぶ	年7回実施。延べ163名参加。	継続	各テーマに合わせて計7回実施予定。
85			05環境	文化振興課 (房総のむら)		里山観察会	植物や昆虫、小動物などが棲む、房総のむらに残る落葉広葉樹林・アカマツ林による里山を観察する。	10月19日 野生のきのこ(参加者:15人) 11月23日 こけ植物(参加者10人)	継続	10月19日 野生のきのこ 11月23日 コケ植物
86			05環境	文化振興課 (房総のむら)		子ども里山観察会	親子を対象に、体験的な観察会や教室を行う。	10月13日 やさしいきのご観察会(参加者:19人)	継続	7月20日 夏の夜の虫たち 10月11日 やさしいきのご観察会
87			05環境	文化振興課 (房総のむら)		野鳥観察会	房総のむら及び周辺で見られる冬の野鳥を観察する。	2月8日 野鳥観察会(参加者:3人)	継続	2月8日 野鳥観察会
88			10教育	生涯学習課		青少年教育施設管理費	団体生活や自然体験等を通じて青少年の健全育成を図るため、青少年教育施設(5施設)を管理運営する。	各施設において、自然体験事業等を実施した。 ・利用者数 202,130人 (5施設合計R7.3.31時点) ・宿泊者数 84,005人 (5施設合計R7.3.31時点) ・利用団体数 2,676団体 (5施設合計R7.3.31時点)	継続	各施設において、自然体験事業等を実施する。
89		(4)イベント等の実施を通じた参加機会の充実	02総企	水政課	本籍	全日本中学生水の作文コンクール	「水の日」及び「水の週間」関連行事の一環として、次代を担う中学生を対象に作文を募集する。(テーマ「水について考える」)なお、優秀な作文について表彰式を執り行う。	県内各地から120編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞2編、奨励賞2編、学校賞1校を選定した。 (主催者:水循環政策本部・国土交通省・千葉県) 1. 作品募集 募集テーマ:「水について考える」、募集対象者:県内在住・在学の中学生、募集期間:3月8日～5月9日、応募数:120編 2. 表彰 千葉県自治会館にて表彰式を実施。	継続	募集テーマ:「水について考える」 募集対象:県内在住・在学の中学生 募集期間:令和6年11月8日～令和7年5月9日必着
90			05環境	自然保護課		愛鳥週間行事(探鳥会・ポスターコンクール)	愛鳥週間(5月10日～5月16日)期間中に、野鳥の専門家と一緒に行徳湿地を散策し、野鳥等の自然の生物を観察することにより、鳥獣保護思想の普及啓発を図る。 また、県内の小・中・高等学校の児童・生徒を対象に、日本に生息する野性鳥類を題材としたポスターコンクールを開催し、制作過程を通じて愛鳥思想の高揚を図るとともに、入賞作品を展示することにより一般県民への野鳥保護思想の普及啓発を図る。	愛鳥週間ポスターコンクールを実施し、県内3か所で行った。	継続	・愛鳥週間ポスターコンクールの実施及び入賞作品の展示
91			05環境	循環型社会推進課	本籍	エコメッセちば	持続可能な社会作りのため、環境への意識を高め、環境保全行動を促進することを目的に、環境活動見本市であるエコメッセを市民・大学・企業・行政などの協働により開催する。	県下最大の環境見本市「エコメッセ2024inちば」を開催した。 会場出展:67団体 入場者4,500人 オンライン出展12団体 視聴数:8,878(R7.3月末時点)	継続	エコメッセちば2025の開催
92			05環境	循環型社会推進課	本籍	環境月間ポスター作品の募集・表彰	環境月間の作品(ポスター)を募集し、その中から特に優秀な作品に対して表彰するとともに、作品を環境保全意識の普及啓発に活用する。	応募数904作品のうち、最優秀賞4、優秀賞8、奨励賞72の作品を表彰した。 このうち優秀賞以上の12作品について表彰式を開催し、奨励賞以上の84作品について県立美術館にて入賞作品の展示を行った。	継続	環境月間ポスターの表彰の実施
93			08県土	葛南土木事務所		真間川流域総合治水対策協議会 絵画コンクール	総合治水対策の推進にあたり、地域に住む人々に治水や河川環境の保全の取り組みについて理解し協力を得る必要があることから、次代を担う子供達である小学生を対象に治水対策や河川愛護への理解を深めるため、絵画コンクールを実施した。	市川市、船橋市、松戸市、鎌ヶ谷市内の小学校を対象に募集を行い、令和7年1月16日に審査会を実施した。	継続	市川市、船橋市、松戸市、鎌ヶ谷市内の小学校を対象に募集を行い、令和8年1月に審査会を実施予定。
94			08県土	公園緑地課		県庁緑のカーテン 苗の植付けイベント	小学生に苗を植え付けてもらうことによって緑のカーテンについて知ってもらい、都市緑化の必要性、屋上・壁面緑化の効果や地球温暖化についての学習の機会を提供する。	苗の植え付けイベントに代わり、苔テラリウム体験イベントを実施した。	継続	緑のカーテン苗の植え付け体験をイベントとして開催し、緑化に対する意識を高める。(5月29日実施済み)
95			08県土	公園緑地課		苔玉体験イベント	講師を招き、緑の創出に関連した体験型イベント(苔玉体験)を開催し、都市緑化の必要性や地球温暖化についての学習の機会を提供する。	講師の方を招いて苔テラリウム体験イベントを令和6年8月24日に実施した。	継続	緑に対する意識や関心を高めることを目的とする体験型イベントを実施する。

「千葉県環境学習等行動計画」関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R6年度	R7年度	
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	状況	事業予定
96			09企業	業務振興課		水道週間ポスター・標語コンクール	水道について広くお客様に知っていただき、水道事業が今後も発展していくことを目的とし、毎年「水の大切さ」や「くらしを支える水道水」を呼び掛けるポスターまたは標語を募集する。	・第66回水道週間「ポスター・標語コンクール」の表彰及び入賞作品の展覧会を実施した。 また、作品を広報用ポスターとして活用し、「水の大切さ」等の啓発を目的とした配布、掲示を行った。 ・第67回水道週間に向けた作品募集及び広報活動を実施した。	継続	・第67回水道週間「ポスター・標語コンクール」の開催（受賞者の表彰及び入賞作品展覧会の実施（そごう千葉店や県立美術館等の県内施設）） ・第68回水道週間に向けた作品募集及び広報活動の実施
97	5 活動基盤の充実	(1)環境関連基金の活用	05環境	循環型社会推進課		ちば環境再生基金の活用	(一財)千葉県環境財団に設置されている「ちば環境再生基金」が実施する環境学習等への助成事業の活用を促進し、学校や地域における協働取組を支援する。	・県民の環境活動への支援事業(98事業15,662千円) ・提案型環境再生事業(1事業2,000千円) ・環境活動見本市等普及啓発支援事業(1事業2,344千円) ・未来の環境活動担い手支援事業(4事業400千円) ・廃食油燃料利用促進プロジェクト事業(3事業300千円)	継続	・県民の環境活動への支援事業 ・提案型環境再生事業 ・環境活動見本市等普及啓発支援事業 ・未来の環境活動担い手支援事業 ・廃食油燃料利用促進プロジェクト事業
05環境			循環型社会推進課		地域環境保全基金の活用	地域住民への環境保全の知識の普及、地域の環境保全のための実践活動に対する支援等に関する事業を継続的かつ着実に実施するために設置している「千葉県地域環境保全基金」を活用し、環境学習等の推進を図る。	以下事業の財源として活用した。 ・環境学習等促進事業 ・地域の地球温暖化対策推進のための普及啓発事業 ・生物多様性保全の普及啓発事業 ・印旛沼・手賀沼環境保全対策事業	継続	以下事業の財源として活用する。 ・環境学習等促進事業 ・地域の地球温暖化対策推進のための普及啓発事業 ・生物多様性保全の普及啓発事業 ・印旛沼・手賀沼環境保全対策事業	
05環境			循環型社会推進課		民間資金に関する情報提供	民間団体や事業者が保有する環境関連基金や資金に関する情報収集・情報提供を行う。	民間団体や事業者が保有する環境関連基金や資金に関する情報収集・情報提供を行った。	継続	民間団体や事業者が保有する環境関連基金や資金に関する情報収集・情報提供を行う。	
05環境			環境政策課		千葉県環境功労者表彰	県内における環境美化又は環境保全活動の推進に顕著な功績のあった個人又は団体への表彰を実施する。	千葉県環境功労者知事感謝状を10者(個人9名、1団体)に贈呈した。 【表彰式】 (1)日時 令和6年6月13日(木) (2)場所 県庁本庁舎5階 大会議室	継続	千葉県環境功労者知事感謝状を8者(個人7名、1団体)に贈呈した。 【表彰式】 (1)日時 令和7年6月26日(木) (2)場所 県庁本庁舎5階 大会議室	
98			05環境	循環型社会推進課		環境月間ポスター作品の募集・表彰	環境月間の作品(ポスター)を募集し、その中から特に優秀な作品に対して表彰するとともに、作品を環境保全意識の普及啓発に活用する。	応募数904作品のうち、最優秀賞4、優秀賞8、奨励賞72の作品を表彰した。 このうち優秀賞以上の12作品について表彰式を開催し、奨励賞以上の84作品について県立美術館にて入賞作品の展示を行った。	継続	環境月間ポスターの表彰の実施
99		(2)民間資金の活用	05環境	循環型社会推進課		民間資金に関する情報提供	民間団体や事業者が保有する環境関連基金や資金に関する情報収集・情報提供を行う。	民間団体や事業者が保有する環境関連基金や資金に関する情報収集・情報提供を行った。	継続	民間団体や事業者が保有する環境関連基金や資金に関する情報収集・情報提供を行う。
100		(3)表彰の実施	05環境	環境政策課		千葉県環境功労者表彰	県内における環境美化又は環境保全活動の推進に顕著な功績のあった個人又は団体への表彰を実施する。	千葉県環境功労者知事感謝状を10者(個人9名、1団体)に贈呈した。 【表彰式】 (1)日時 令和6年6月13日(木) (2)場所 県庁本庁舎5階 大会議室	継続	千葉県環境功労者知事感謝状を8者(個人7名、1団体)に贈呈した。 【表彰式】 (1)日時 令和7年6月26日(木) (2)場所 県庁本庁舎5階 大会議室
101			05環境	循環型社会推進課	再掲	環境月間ポスター作品の募集・表彰	環境月間の作品(ポスター)を募集し、その中から特に優秀な作品に対して表彰するとともに、作品を環境保全意識の普及啓発に活用する。	応募数904作品のうち、最優秀賞4、優秀賞8、奨励賞72の作品を表彰した。 このうち優秀賞以上の12作品について表彰式を開催し、奨励賞以上の84作品について県立美術館にて入賞作品の展示を行った。	継続	環境月間ポスターの表彰の実施
102		(4)調査研究	05環境	循環型社会推進課		環境保全に関する県民意識等の把握	県民の環境保全に関する意識や具体的な環境保全活動への参加状況等について継続的に把握する。	県政世論調査において県民の環境保全に関する意識や具体的な環境保全活動への参加状況等を把握した。	継続	県政世論調査において県民の環境保全に関する意識や具体的な環境保全活動への参加状況等を把握する。
103			05環境	循環型社会推進課		先進事例等の調査・研究	国や他自治体等における環境学習等の取組状況や先進事例等についての情報収集を行う。	機会を捉え、国や他自治体等における環境学習等の取組状況や先進事例等についての情報収集を行っている。	継続	国や他自治体等における環境学習等の取組状況や先進事例等についての情報収集を行う。
104	6 協働取組の推進	(1)多様な主体との連携・協働の推進	05環境	環境政策課		三番瀬ミーティングの開催	多様な主体から意見聴取する場として、漁業関係者、地元住民、NPOなどが参加する「三番瀬ミーティング」を開催する。	三番瀬ミーティングを開催した。 (令和6年12月21日開催。参加者25名。)	継続	三番瀬ミーティングを開催する。
05環境			循環型社会推進課		環境学習等に関する交流・協働の場づくり	環境学習等に取り組む多様な主体間の交流・情報交換の機会を提供し、連携・協働した取組を推進する。	効果的な交流・協働の場づくりに向けて、環境学習等に携わる関係者との意見交換を行った。	継続	環境学習等に携わる関係者との意見交換を行いながら、交流・協働イベントを実施する。	
05環境			循環型社会推進課	再掲	エコメッセちば	持続可能な社会作りのため、環境への意識を高め、環境保全行動を促進することを目的に、環境活動見本市であるエコメッセを市民・大学・企業・行政などの協働により開催する。	県下最大の環境見本市「エコメッセ2024inちば」を開催した。 会場出展：65団体 入場者2,300人 オンライン出展20団体 視聴数：6,426(R6.3月末時点)	継続	エコメッセちば2024の開催	
05環境			くらし安全推進課		令和7年度消費生活協同組合役員研修会	地域における生活協同組合の役割発揮や認知度向上、また、生協が様々な社会課題等に向けてどのように活動を進めていけばいいか、参加者間で討議や事例検討を行う。 令和7年度においては、SDGs(オーガニックと街づくり)をテーマに開催する。 (県・千葉県生活協同組合連合会共催事業)		新規	令和7年度消費生活協同組合役員研修会	
108		(2)若者との協働の推進	05環境	循環型社会推進課	再掲	若者が主役の環境保全活動応援事業	若者の創意工夫による活動の企画コンペを実施し、活動への支援や、地域団体や企業への橋渡しを行うことで、本県の環境活動をリードする若手人材の育成を図るとともに、若者発信による共感・関心を広げ、県民の行動変容を促す。	「若者が主役の環境保全活動アイデアコンテスト」を次のとおり開催した。 募集期間 6/24～9/11 → 応募数 11件 コンテスト開催 10/20 → 5件参加のうち3件を表彰 活動報告会 3/8に開催するなど継続して支援	継続	若者の創意工夫による環境保全活動のアイデアコンテストを開催し、活動への支援を行う。 事業概要 1 協力団体等の把握 2 コンテストの開催 3 受賞者の活動への支援と活動状況の把握

「千葉県環境学習等行動計画」関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組		担当		再掲	事業名	事業概要	R6年度	R7年度	
				部局	主務課 (実施機関)				事業実績	状況	事業予定
109				05環境	自然保護課		インターンシップ実習生の受け入れ	県庁インターンシップ実習生を受け入れ、生物多様性保全に関する知識の習得や情報発信を図る。	千葉県庁キャリア実習プログラムとして3名を受入れ	継続	千葉県庁キャリア実習プログラムとして3名を受入れ
110		(3)事業者等との協働の推進	・幅広い世代へ効果的に環境保全についての普及啓発を図るため、多くの人が参加するイベントや観光・集客施設、環境保全に取り組む先進的な事業者等と連携・協働した取組を推進します。	05環境	循環型社会推進課	再掲	3R推進事業	3Rの推進を図るため、ごみを減らすために、身の回りのできることを実践するライフスタイル「ちばエコスタイル」の普及啓発を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境月間や3R推進月間などの機会を捉え、リーフレット、ホームページ、SNS等を活用し、「ちばエコスタイル」の普及に取り組んだ。 ・県内事業者等と連携し、各種イベント等で啓発を実施した。 ・各種イベントにて、「ちばエコスタイルパートナー」登録制度の周知を図った。 <p>○「ちばプラごみ削減パートナー」登録事業者数:54事業者2,288店舗(3月31日時点) ○「ちば食品ロス削減パートナー」登録事業者数:89事業者3,436店舗(3月31日時点)</p>	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・環境月間や3R推進月間などの機会を捉え、リーフレット、ホームページ、SNS等を活用し、「ちばエコスタイル」の普及に取り組む。 ・県内事業者等と連携し、各種イベント等で啓発を実施する。 ・「ちばエコスタイルパートナー」登録制度の周知を図る。
111				05環境	循環型社会推進課	再掲	食品ロス削減対策推進事業	消費者、事業者等が食品ロス削減について理解と関心を深め、それぞれの立場から取り組むことを促進するよう、普及啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の「食品ロス削減月間」を中心に、リーフレットやポスター等による情報発信を行うとともに、「ちば食品ロス削減パートナー」登録制度の周知を行った。 ・県内のコンビニエンスストア、食品スーパー等において「てまえどり」の啓発を実施した。 <p>令和6年度 「てまえどり」啓発実施店舗 2,924店</p>	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント出展やSNS等による情報発信を行う。 ・「ちば食品ロス削減パートナー」登録制度の周知を図る。 ・「てまえどり」など、事業者と連携した啓発を行う。